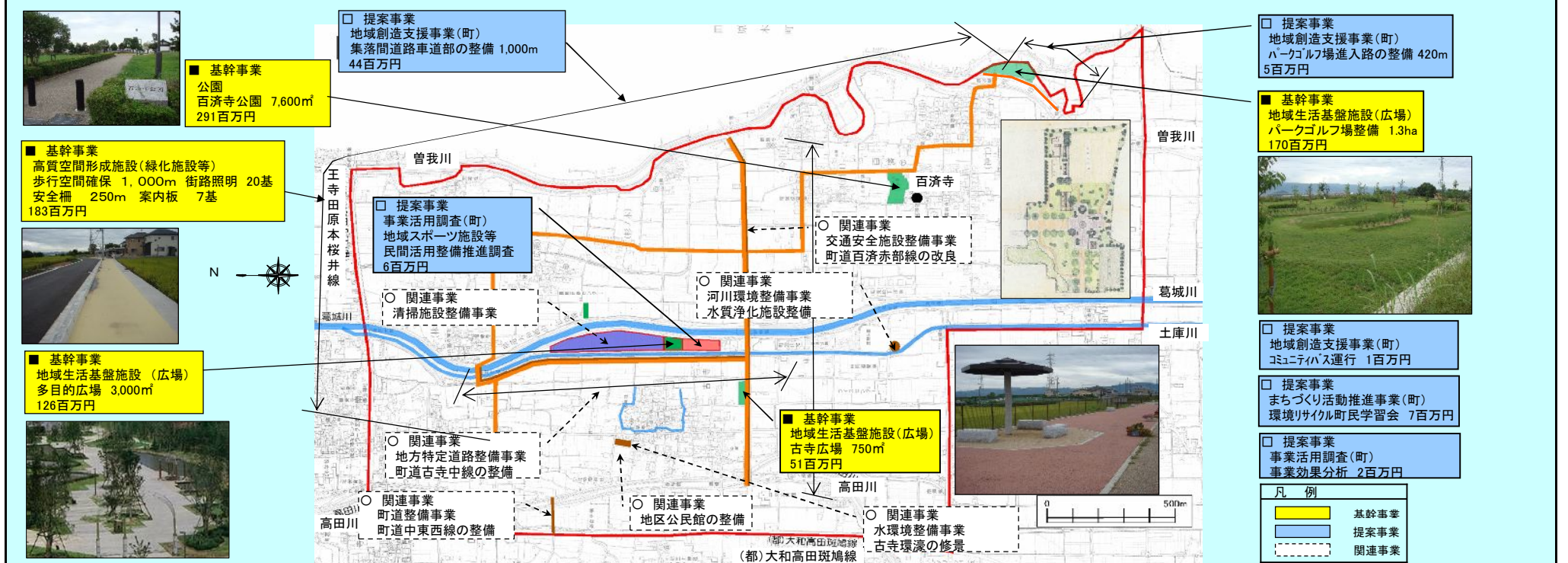


様式2-2 地区の概要

広陵東部地区(奈良県広陵町) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 新規に整備される清掃施設と地域資源を活用した、環境・健康を通じて多世代の新旧町民が集う地域づくりの推進。 目標1: 【環境・廃棄物】環境・リサイクル拠点としての整備や町民活動の推進を通じて、環境やごみ減量に対する町民の意識向上を図る。 目標2: 【健康】地域資源を活用しながら、町民の健康増進を図る。 目標3: 【集落環境】清掃施設等の整備に伴う影響を軽減させ、地域と調和させて、集落環境の保全・改善を図る。	環境活動への参加者数	単位: 人/年 80	平成16年度 300	平成22年度 466
	町民1人当たりゴミ排出量	単位: kg/人年 266	平成16年度 215	平成22年度 214
	健康増進施設の利用者数	単位: 人/年 164,781	平成16年度 200,000	平成22年度 201,590
	集落環境に対する満足度	単位: % 4.8%	平成17年度 20.0%	平成22年度 23.3%



まちの課題の変化

●課題の改善状況

- ・町民に対し、クリーンセンターの施設見学会及び学習会を定期的に開催しており、交流拠点施設としての活用が図られている。
- ・ゴミ袋の有料化などにより町民のゴミ、リサイクルに対する意識を向上させ、施設見学会を通じてリサイクルの仕組みや重要性を知ってもらうことでゴミ排出量の減少につながっている。
- ・全町民が集う、かぐや姫祭り(環境活動イベントも含む)といった大きいイベントをPR・継続開催することで、東西町民の交流の機会を創出してゆく。

●未解決の課題

- ・施設見学会の対象者、開催時期が十分でなく、広く有効活用されていない。
- ・粗大ゴミの量は減っておらず横ばいである。
- ・高齢者に対する生きがいづくりや健康増進につながる対策が必要である。
- ・四季を通じた全町民が集う交流機会の創出が必要である。特に高齢者が参加しやすい仕掛けが必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・クリーンセンターの利用方法について、施設見学会や学習会以外の活用方法を検討する必要がある。
- ・ごみ白書の公開(HP等)により、広陵町におけるゴミ排出量が減量傾向となっている昨今の実態を知ってもらう必要がある。
- ・町民に健康増進施設の活用を促すため、広報やHPなどによる情報提供に努める必要がある。
- ・粗大ゴミのリユースについて、クリーンセンター内での展示・販売などの方策を検討する必要がある。
- ・高齢者に対して、教育機関や公的施設における生涯学習講座の開催や運動教室(体力づくり)を実施することで、生きがいづくり若しくは健康増進につながるような環境づくりが必要である。